

平成 28 年度 第 2 回福岡県助産師会スキルアップ研修会実施報告  
(助産実践能力習熟段階クリニカルラダー) レベルⅢ認定申請のための必須研修

- ① 助産記録を理解する ～記録の基礎と助産記録の具体的な考え方～
- ② 助産ケアと倫理 ～助産実践にともなう倫理を再確認する～

講師：佐藤 香代 助産師 (福岡県立大学大学院 助産学領域 教授)

H28 年 7 月 23 日、本年度第 2 回目の研修会を開催しました。  
当日は 20～50 代助産師・助産学生の方々がラダー申請の目的の為に、沢山ご参加いただきました。

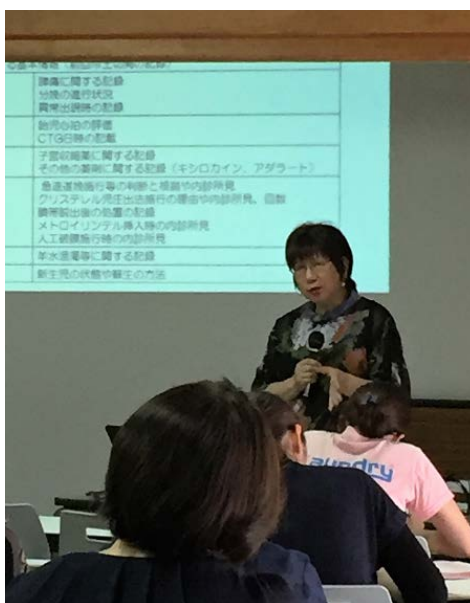
佐藤先生より、ラダーⅢ対応「①助産記録を理解する、②助産ケアと倫理」と題してのご講演でした。

「①助産記録」では、その目的や意義、法的責任、時代背景、そして日常の業務のなかでの助産記録における記載記録不足に関して、どの部分の記録が必要かつ大事であるかを、具体例も取り入れられ詳細にわかりやすく教えていただきました。正確な助産記録は、妊産婦だけでなく助産師を守ることになり、情報を受け取る助産師のセンスも必要であるとのことでした。

2 講座目の「②助産ケアと倫理」では、倫理が問われるようになった歴史的背景、倫理綱領、保助看法などを改めて読み解き、助産師の義務や責務など基本に立ち返って学ぶことができました。また事例を通して情報倫理や助産倫理についても考えることができました。

①②の講義を通し、ラダーの取得に必要なポイントについてお話いただき、大変参考になりました。「実践能力や知識を備え、倫理的感応力を持って女性を信じ、支えることができるような助産師である」ということはなかなか難しいことかもしれませんが、専門職としてこの部分を育てていきたいと思えます。

佐藤先生にはご多忙の中、わかり易くお話いただきましてありがとうございました。



文責：教育委員 森岡 由己子